				(按川中行政	(評価ンステム)				
平成29年度	事務事業評価表 A ( 平成28	年度 の実績評価)		入年月日 成 29 年	3 月 17 日				
事務事業名	(仮称) 桃山小中一貫教育校建設事業	事業区分		担当					
争物争未包	(似例)桃山小中一貝教育权建設争集	新規/継続	新規	事務事業No.	030101000931				
	政策体系上の位置付け	単独/補助	補助	所属課	090101				
政総合計画の施策名	0301 学校教育の充実	主要事業	対象	別馬味	学校教育課				
策 政策名	03 豊かな心と生きがいを育む教育・文化づくり	市長マニフェスト	対象						
体施策名	01 学校教育の充実	未来PJ事業	対象外	グループ	企画・営繕グループ				
系基本事業名	O1 安心安全な教育環境づくり	合併建設計画事業	対象						
	財務会計上の位置付け	事業期間							
予算科目 会計 款	項   目   事業   細   一般会計	期間限定複数年 (平成27年度~平成29年度)							
01 10	01   11   01   01   桃山小中一貫教育校建設事業	□→ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入							
法令根拠									
【Do】 1. 事務事業の現状把握(その1)									
(1)事務事業の概要									
①事務事業の概要(事務事業の全体像) ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順									
桃山中学校区において、小中学校適正配置に関する保護者等の合意が形成さ・・設計業務委託・									
れ、真壁小学校と紫尾小学校の統合及び桃山中学校とあわせて施設一体型の小   公募型プロポーザルの実施による設計業者の選定									
中一貫教育校を設立することに関する教育委員会への要望及び市議会への請願 平成28年7月末までに実施設計完了									
■   が行われた									

が行われた。 議会ではこれを受けて請願を採択し、新たな小学校校舎を桃山中学校敷地内に 建設するための予算が議決された。 平成30年4月の開校を目指して校舎建設計画を進める。

- 建設工事発注 平成29年2月竣工予定
- 工事監理委託引越等の検討
- ・備品の購入

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移																
				・意図と答指		-			- N///	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度		
(1)	手段	(	担当者の活動内容)		④活動指標	(沽動量を	を表す指標)		単位	(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)		
			打合せ回数	打合せ回数				15,00	21.00	44.00	0.00	0,00				
Š	<ul><li>・設計業務委託 受託業者との協議</li><li>・工事発注</li><li>・工事監理業務委託</li></ul>			質疑回答数				13,00	15.00	10.00	0.00	0,00				
				参考事例視察回数				1.00	3.00	2.00	0.00	0.00				
									0.00			0.00				
2	②対象 (誰、何を対象にしているのか)		⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)		単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	30年度 (目標)	31年度 (目標)						
. (	<ul><li>(仮称)桃山小中一貫教育校校舎</li></ul>				桃山中学校区	桃山中学校区内小中学校			校	3.00	3.00	3.00	0.00	0.00		
• 🛊	· (汉州) 杨山小中一員教育校校告     · 桃山中学校区内小中学校     · 桃山中学校区内児童生徒数			桃山中学校区	桃山中学校区内義務教育学校			校	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00			
Ľ	ند پ				桃山中学校区	桃山中学校区内児童生徒数			人	911.00			778.00	0.00		
3	意図		この事業によってダ るのか)	対象をどう変え	⑥成果指標	(対象によ を表す指	Sける意図0 ≤煙)	の達成度	単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	30年度 (目標)	31年度 (目標)		
• #	・桃山中学校敷地内に施設一体型の小中一 貴教育校校舎を建設することにより、学区 内の児童生徒が適正規模で義務教育を受け られるようにする。			桃山中学校区の適正規模を満たさない			学学級	6.00			0.00	0.00				
貫				193.54				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00				
								0.00	0.00	0.00	0.00	0.00				
(;	(3) 投入量(事業費)の推移		27年度		28年度		29年度			31年度		期間限定				
			国庫支出金	千円	(実績)	0	(実績) 172,3°	11	(計画)	,561	(目標)	(目標)	) f	総投入量 584,872		
		財	県支出金	十円		o o	0		712	0	0		0	004,012		
投	事	源	地方債	千円		0	865,35	58	1,346	,536	0		0	2,211,894		
	業	内	使用料・手数料 千円			0		0		0	0		0	0		
	費	訳	その他	千円		0		0		0	0		0	0		
入	-	-	一般財源	千円	38,19		46,88			,913	0		0	196,992		
	_		事業費計(A) 規職員従事人数	千円 人	38,19 3.00人		1,084,54 3.00人	49	1,871 3.00人		0.00人	0.00人		2,993,758		
量	件		述べ業務時間	時間	1,797.4		2,000.0	20		0.00	0.00		0.00			
	費 人件費計(B)			千円	5,21				5,802		0		0			
	-	ータ.	ルコスト(A)+(E	3) 千円	43,41	3	1,090,35	51	1,876	,812	0		0			
				28年度事業費	実績(千円)					2		予算(千円)	円)			
	08 報償費 108						09 旅費 11 需用費 12 役務費		203							
事		旅費				133										
業		需用 役務		9 1,152					2 佼務賞   3 委託料		2,351 36,800					
費		委託		83,214						3 安記科 4 使用料及び賃借料						
の 由							23 1,800,000									
内訳	1 T T T T T T T T T T T T T T T T T T T								31,500							
					숨 計		1,084,5	49				合	計	1,871,010		
(4	4) :	)当該年度の実施内容 29年度の事業内容						年度の事業内容								
			当する事業は、発送のでは、		「事監理業務委託 役工事(竣工) ≧み築											

- ・校告建設工事(竣工) ・既存校舎改築 ・旧校舎⇒新校舎引越業務委託 ・備品購入 ・竣工式
- ・主要事業・市長マニフェスト・未来PJ事業・合併建設計画事業



事務事業名 (仮称)桃山小中一貫教育校建設事業	事務事業№.	30101000931	所属課	学校教育課					
【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)	たったの 問かの 世まる	ハけに左共と比がてばる	恋わっ ものかり						
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 平成27年3月議会において、桃山中学校区保護者から統合に関する請願書が提出され、議会で採択された。これを受け、平成27年6月議会におい									
平成と「年3月議会において、桃田中学校区保護者から統合に関すて建設に関わる補正予算が議決されたことから、本事業が実施され		に採択された。これを受	り、平成2/1	‡6月議芸におい					
(建設に対ける補止で昇が一議次で化にしてから、本事未が失肥され	るとととなった。								
   (6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害	関係者)からどんな音目や	要望が寄せられているか?							
統合準備委員会委員が参加するワークショップにおいて、新校舎に									
	は の		INC C CVIO						
(7)前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容									
工事の契約にかかる消費税増税が前									
実施設計完了予定が7月末ごろにな	なるため、そこから契約ま <sup>-</sup>	での手順を確認しておき、	なるべく早く	契約出来るような方					
法を検討・実施する。									
改革改善を行う									
以単以音でリフ									
【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。									
₹	価 項 目								
①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつく	くか?意図することが結果に結	びついているか?)							
結びついている   市が平成26年に示した適正配置基本記	計画に沿った事業であり、『	<b>改策体系と結びついている</b>	5.						
		2440) (HDSST#H	7 ~ 2 14)						
妥 ② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか	?祝金を投入して、達成するE	目的か?)(法定受託事業は	その名称)						
対象校は桜川市立の小中学校であり、	市内の小中学生に適正な学	習環境を確保することに	なるため、市だ	が達成する目的として					
妥当である。 妥当である。									
③ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準	とあるべき水準との差異はない	1か?何が原因で成果向上が	期待できないのか	) <sup>(</sup> ?)					
この声響の無体により、まが記画した	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	必要によいて生ません	フーレーちつ	·					
「向上余地がある				バブきろ					
		.主はていり及び収合と下	ウエアること	7 (6.9)					
④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響									
有	性が十分ではないため、事	業が中止・休止すると児	重生徒の安全性	注に問題が出てくる可					
効    影響有	適正担棋を港たしておらす								
「無毛が子校は過止的過至年前過でから   ⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性)									
(他に手段がある場合)   具体的な手段、事務事業名		7 OB 87 7							
, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	+								
				以善に本事業の推進は					
効   ⑥事業費・人件費の削除余地(成果を下げずに事業費を削除できな	いか?やり方を工夫して延	べ業務事業を削減できな	いか?)						
	も建設工事にかかる費用は	安価になっており、削減	は難しい。建設	Q工事にかかる職員人					
性間減余地がない性性性に対しては対しては対しては対しては対しては対しては対しては対しては対しては対しては									
	原っていて不小立でけないかく	) 巫光孝色 わがい 立・ ハエに	なっているかの)						
<b>公</b>			-						
平性 公正・公平である 市内小中学校すべてを対象とした適正 いう目的であることから、公正・公平		設計画であり、市内児童	生徒の適正な	学習環境を確保すると					
性	である。								
【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算へ	の反映)								
	(2) 全体総括(振り返り								
	成30年4月の開校に向けて								
	F週の定例会議を行い、工事	B監理事業者、建設事業者 第二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	との連携を密	こ取って進められてい					
②有効性 □ 適切 ■ 見直し余地あり → □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	D <sub>o</sub>								
○ 効学性 ■ 週切 口 先世し未地のり ,									
④公平性 ■ 適切 □ 見直し余地あり									
(3) 今後の事業の方向性									
	(複数回答可)			・改善による期待成果					
□ 終了 ■ 継続 → ■ 改革改善を行う	目的の再設定	効率性の改善	(終了・廃止	・休止の場合は記入不要)					
	有効性の改善			コスト					
□ 廃止 □ 休止 □ 現状維持 □	統廃合ができる □			削減 維持 増加					
			向	0					
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決		_ (21)							
建設工事が始まってからも、現場で想定しなかった状況が発生したり、  に解決策を検討しながら工事を進めている状況である。	字校からの要望等か上か	つくくる状況であり、常	成維持						
に解決束を検討しながら工事を進めている状況である。  関係者が協力し合って一つ一つの問題、課題に対応しながら進めてい。	/ 心亜がある		長 低						
	· ~ × / v v v v		下	X X					
			(6)事務事	第業優先度評価結果					
成果優先度評価結果									
<u>八</u> 木									
			コスト削減優生	先度評価結果					
「○しょし」 4 7本取りがかせかせんウルナッセルカー									
【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項 (1) 課長評価	(2) 部長確認及び評(	西 (課長評価により、(		変別が必要を担合し					
		Ⅲ (団及の十川にみり、(		正量の とり 女子 ター					
課長確認後の評価	確認欄								
A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止									
B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出									